

令和4年2月25日

上島町長 上村 俊之 様

上島町公共施設あり方検討協議会

上島町公共施設あり方検討協議会の協議結果について（報告）

令和4年2月25日に開催した上島町公共施設あり方検討協議会において、下記のとおり意見がありましたので報告いたします。

記

1. 下弓削中央集会所のあり方について

【下弓削中央集会所についての協議内容】

弓削地区の公民館的役割を果たす施設であり、年間利用者数も多く、近隣に代替施設もないことから、軽微な修繕を実施しつつ、建物の安全性が確保される間は存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・せとうち交流館において、鍵の貸し出し窓口を一本化できないか。
- ・単独で協議するのではなく、同種の施設を天秤にかけてもらった方が理解しやすい。

2. 三分団集会所のあり方について

【三分団集会所についての協議内容】

生名開発総合センターと利用形態が重複しており、施設規模、施設の現況から生名開発総合センターへの集約を検討してはどうか。

集約後の三分団集会所については、サテライトオフィス等の企業誘致等での活用を併せて検討してはどうか。

【協議会の意見】

- ・集約、統合するのは賛成である。
- ・他の島においても同じ目的で建てた建物がいくつもある。
開発総合センターにしても、集会所にしても、統廃合して一つの施設の利用度を高くしていった方が良い。
- ・サテライトオフィスだけでなく、いろいろな大学からサテライト教室で

使用できる施設はないかとの問い合わせもあるので、学校だけでなく、民間に賃貸で貸すという形もあると思う。

3. 岩城コミュニティセンターのあり方について

【岩城コミュニティセンターについての協議内容】

岩城地区のコミュニティ活動の場としての代替施設がなく、経常経費も必要最低限の保守管理費用であるため、存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・他の施設と比較すると利用人数が非常に少ない。
- ・軽微な費用で運用できるということであれば、地元はそれで良いと思うが、近くに岩城開発総合センターがあるので、そこを利用すればコミュニティセンターがなくても会合等はできるのではないかと。
- ・耐用年数的には十分使用が可能で、経費も極端に大きな額ではないので、2、3年様子を見て、利用者がいないということであれば、岩城開発総合センターを利用する等検討してはどうか。
- ・利用が少ない状態であれば、民間に貸し出す等の発想をしていかないと建物を遊ばせていても意味がない。
- ・調理場がコミュニティセンターにしかないので、婦人会と協議が必要だが、集会、健康増進等については、保健センターもあり、他の施設で十分補えるのではないかと。

4. 岩城構造改善センター（海原集会所）のあり方について

【岩城構造改善センターについての協議内容】

修繕箇所の早期発見による修繕経費の軽減を図り、地域コミュニティ活動の拠点として大切な施設であるため、今後も利活用するとともに存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・集会所の管理も負担が大きいので整理していかないといけないが、集会所がいらぬとは、住民は誰も言わない。住民からは統合の話はできないので、町が主導して集会所を統合しましょうと言ってくれると良い。
- ・集会所全部を洗い出して統廃合をやっていかないと小さな部落は負担が大きくなってくる。地区の統廃合も考えて集会所をどうするかという話をしていただかないといけない。
- ・地区の統合について、自治会からは言えないので、町から命令ではなく、指導という形でやっていただけると助かる。

- ・建物の統廃合も同時進行で地区の統廃合を考えると、非常にスムーズに話が進むと思うのでご検討をお願いする。

5. せとうち交流館のあり方について

【せとうち交流館についての協議内容】

交流室（体験交流室・大ホール）の設備では代替施設があるものの、図書スペース等を含めた複合施設としての代替施設はなく、岩城橋開通により利用者の増加も見込めることから、施設の長寿命化を図り存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。

6. 弓削開発総合センターのあり方について

【弓削開発総合センターについての協議内容】

集会施設、文化協会、スポーツ協会の活動等、利用頻度が高く、佐島区内には同規模の施設がなく、他の施設との統合も難しいため、長寿命化を図りつつ存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。

7. 生名開発総合センターのあり方について

【生名開発総合センターについての協議内容】

利用は少ないが、耐震、大規模改修を実施しており、建物の健全度は高いため、他施設を廃止等した場合の代替、複合施設として活用してはどうか。

【協議会の意見】

- ・近隣に良い施設もあり、現状で利用をしていって、他の施設を統廃合して代替施設として使用する形で良いと思う。

8. 岩城開発総合センターのあり方について

【岩城開発総合センターについての協議内容】

近隣に代替施設がなく、岩城中学校及び地域住民の体育館として利用頻度も高いことから、計画的な長寿命化改修を行い、存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。

9. 魚島開発総合センターのあり方について

【魚島開発総合センターについての協議内容】

広い分野で利用可能な施設となっており、避難所としても指定されており重要な施設であることから存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。

10. 魚島地域交流センターのあり方について

【魚島地域交流センターについての協議内容】

1階は港務所の他に漁協の事務所も併設しており、漁協の運営している島で唯一の魚島商店としても活用されている。

地域住民にとって、生活の拠点として活用されている重要な施設であることから存続としてはどうか。

【協議会の意見】

- ・施設の長寿命化を図り存続とするのが妥当である。

11. 全般的な意見

- ・今回リストアップされた施設について、存続したいものばかりであったが、他にも統合したい等の意見はないのか。
- ・各島に開発総合センターの利用形態に類似した施設がある。それを整理しないといけない。
- ・前は斎場を統合したいとの意見があったが、開発総合センターと類似する施設も島に一つあれば良いと思う。
- ・岩城コミュニティセンターも生名三分団集会所も各開発総合センターと近くにあり、統合の提案をして、理解、協力を仰いだ方が話が進みやすいのではないか。
- ・数値的なものを町から提示して、理解を得ながら進めていった方が、協議会委員も協力しやすい。
- ・地区の統廃合も含めた集会所のあり方等、全体のあり方を検討するのが大事である。